

【概要】

薬学における環境衛生学は、「環境の維持・向上により、健康な人が病気にならないようにする学問」として、予防健康科学の分野を担っている。人は生物を取り巻くすべての環境に適応しながら進化を繰り返してきた。環境によって引き起こされる疾病を防止するには、社会・集団の視点から健康と疾病を理解し、地域のなかで普及することが重要である。環境衛生化学の講義では、身近な環境問題としての水・大気環境衛生、地球環境について考察し、健康の専門家としての薬剤師が身につけるべき環境衛生の基本的事項を修得し、疾病の第一次予防としての「健康と環境」を考察できることを目的とする。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。